

## 解答

一

- 1 航海 2 敬礼 3 君臨 4 貿易 5 養蚕 6 迷宮 7 操〔る〕  
8 専〔ら〕 9 株 10 裁〔く〕

二

問1 ウ  
問2 エ  
問3 耳  
問4 作者になんの興味もない人が読んでも、珍しいイギリスの食べ物や食習慣のことについては、きっとおもしろいと思ってくれるにちがいないということ。

ア 具体的事実を、感情を交えないで（書くということ。）  
イ （「感情語」だけで書き表しても、）それは主観を述べたに過ぎず、読者は具体的な体験や経緯などがわからないので、そっけない感想しか持つことができないから。

問5 エ  
問6 具体的な事実を、感情を交えないで（書くということ。）  
問7 （「感情語」だけで書き表しても、）それは主観を述べたに過ぎず、読者は具体的な体験や経緯などがわからないので、そっけない感想しか持つことができないから。

問8 エ  
問9 「この文章」という視点  
問10

三

問1 人生が、世界が終わりになる  
問2 エ  
問3 電車の窓を小雨  
問4 ウ  
問5 木琴演奏は重要な課題だったのに、興味が持てず、授業中は演奏しているふりをしてやり過ぎ、想像の世界に明け暮れていたこと。

問6 木琴を購入して練習し、明日の発表までにマスターすること。  
問7 ア  
問8 親の愛情  
問9

## 解説

一

問8 同じ段落の中で、『うれしかった』と書いても、それは主観を述べたに過ぎず、読者は、いったいなにがどううれしかったのかわからない。『この人はなんだかしらないけれど、ばかににうれしかったんだねえ』という程度のそっけない感想しか、読者は持つことができません。」と述べられています。

二

問6 木琴のエピソードの最初のほうで「木琴演奏が重要な課題として定められていた。こちらはそんなものに興味がないので、あたかも演奏している『ふり』をしてやり過ぎしていた。その代わりに：想像に明け暮れていたのだった」とあり、このことを両親に説明しなければならぬことに大きな決意が必要だったことがわかります。